SensorManager
取扱説明書
電力測定ユニット
（ PM-400-LAN-2 ）編
第二版

目次

1. はじめに . . . 3
2. 仕様 . . . 4
2.1. 機能 . . . 4
2.2. 使用環境 . . . 4
3. 操作手順 . . . 5
4. ホスト PC ネットワーク設定 . . . 6
5. 操作説明 . . . 8
5.1. アプリケーションの起動 . . . 8
5.3. 状態確認 . . . 21
5.4. 無線設定 . . . 26
6. CSV ファイルについて . . . 27
7. パラメータファイルについて . . . 32
8. 構成設定ファイルについて . . . 35
改訂履歴 . . . 36

1. はじめに

本書は電力データ収集用アプリケーション『SensorManager』を使用する為の運用マニュアルです。
電力データ収集用アプリケーション『SensorManager』は

・無線電力通信ユニット（PM-200-RFU-1MA）
・電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）

の 2 機種に対して通信を行い、電力データの収集を行う事が可能です。

本マニュアルでは、『電力測定ユニット（PM-400-LAN-2)』を用いて、電力データの収集を行う方法について記します。

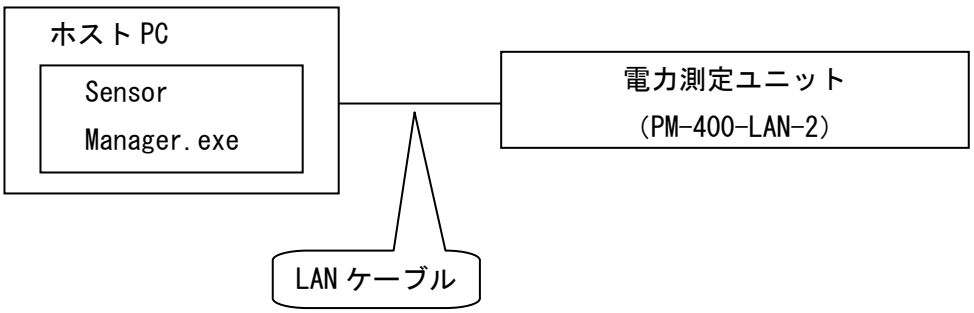
電力データ収集用アプリケーション『SensorManager』を用いて『無線電力通信ユニット（PM-200-RFU-1MA)』と通信を行い電力データの収集を行う場合は、『無線電力通信ユニット（PM-200-RFU-1MA）編』を参照してください。

以降、『親機』と表記されている場合は『無線電力通信ユニット（PM-200-RFU-1MA)』を、『子機』と表記されている場合は『無線電力通信ユニット（PM-200-RFU-1MA）と通信を行う対象の機器｛無線電力測定ユニット（PM-200-RFU-1SA)、無線電力測定ユニット（PM-201-RFU-1S)、無線電力測定タップ（PM-224-RFU-2SAC100)｝』を指し示すものとします。

2.仕様

2.1.機能

本アプリケーションは無線電力通信ユニット（PM-200-RFU-1MA)、または電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）と通信を行い、測定したデータを収集する為に使用するアプリケーションです。



2.2.使用環境

本アプリケーションを用いて電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）から電力データ収集を行う際に必要とされる物は以下のようになります。

- SensorManager.exe
- ホスト PC
- 電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）
- LAN ケーブル
- AC アダプタ

3. 操作手順

本アプリケーションを使用する際の操作手順は以下のようになります。

① ホスト PC のネットワーク設定

ホスト PC のネットワーク設定を行ってください。

電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）の IP アドレスは、初期値として“192.168.10.1”が設定されています。

IP アドレスの設定方法の詳細については『4. ホスト PC ネットワーク設定』を参照してください。

② 本アプリケーションの起動

『SensorManager.exe』を起動してください

本アプリケーション起動時に、データ収集開始ボタンが有効になっている場合は収集停止ボタンをクリックしてください。（アプリケーション初回起動時はデータ収集開始ボタンが有効の状態になっています。）

起動時に表示されるウィンドウについては『5. 操作説明』を参照してください。

③ 通信の設定

通信を行う対象の設定を行います。

設定参照ボタンをクリックし、各項目を設定してください。

無線通信を行う対象の設定項目については、『5.2. 設定確認』を参照してください。

④ データ収集開始

データ収集開始ボタンをクリックしデータ収集を開始します。

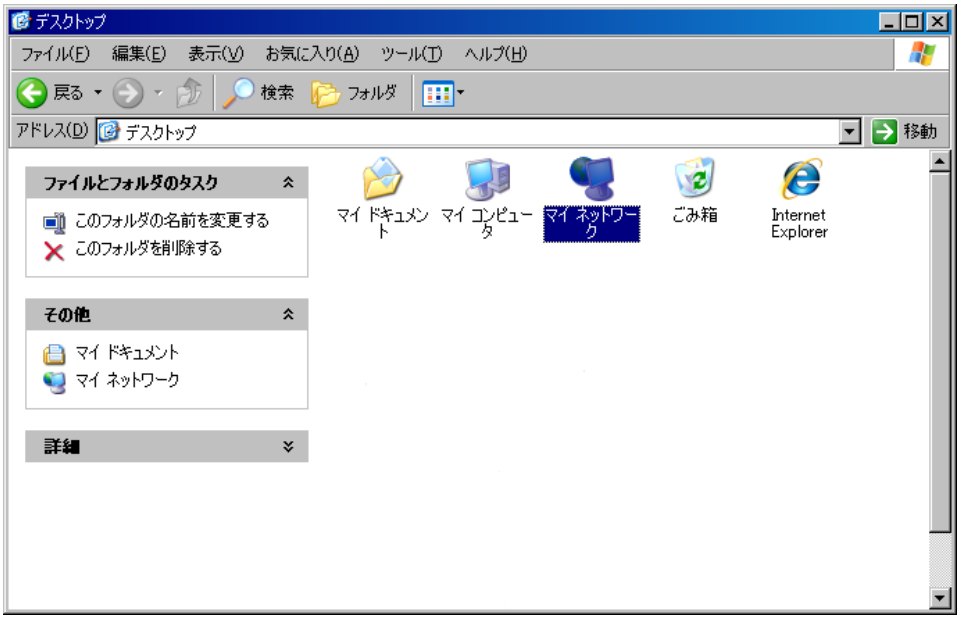
収集されたデータは、『SensorManager.exe』と同一ディレクトリ内に作成される『Data』フォルダ内に作成されます。（収集データの保存先は任意に設定することができます。）

収集データの保存先の変更方法は『5.1. アプリケーションの起動』を参照してください。

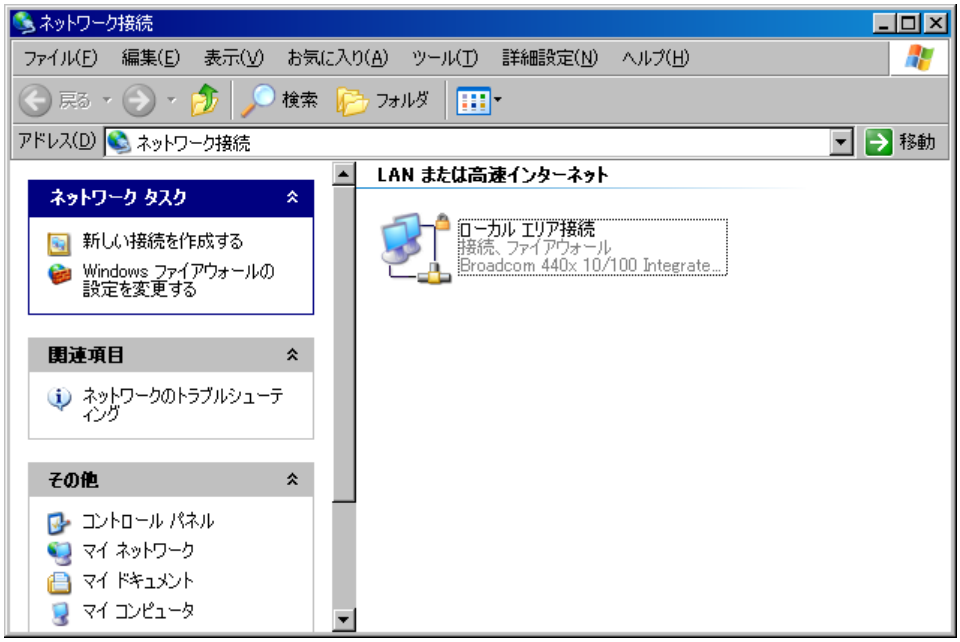
4. ホスト PC ネットワーク設定

本アプリケーションを用いる場合、ホスト PC のネットワーク設定を変更する必要が有ります。設定方法について以下に記します。

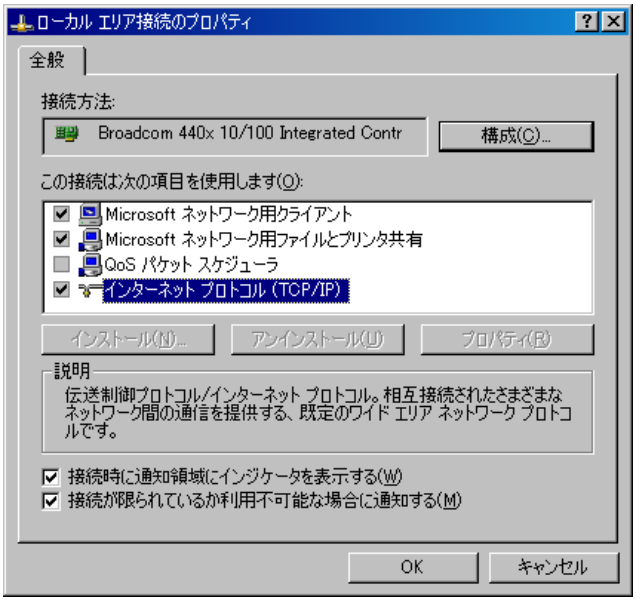
①マイネットワークを右クリックして、プロパティを開きます。



②LAN のローカルエリア接続を右クリックして、プロパティを開きます。



③インターネットプロトコル（TCP/IP）を選択しプロパティをクリックし IP アドレスを設定してください。



ホスト PC のネットワーク設定は、IP アドレスを「192.168.10.***」
（***は、1 以外の任意のアドレスを指定）に設定してください。
電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）の IP アドレスの初期値は“192.168.10.1”です。

以上でホスト PC のネットワーク設定は完了です。

5. 操作説明

本アプリケーションの操作方法について以下に記します。

5.1. アプリケーションの起動

電力測定ユニット(PM-400-LAN-2)を LAN ケーブルでホスト PC に接続してください。
『SensorManager.exe』を起動してください。アプリケーションが正常に起動すると次のようなウィンドウが表示されます。

本アプリケーション起動時に、『SensorManager.exe』と同一のディレクトリに以下のファイルが作成されます。

- Data　（ファイルフォルダ）
- Param　（ファイルフォルダ）
- fail.Log　（テキストドキュメント）
- SensorManager.log　（テキストドキュメント）

また、アプリケーション終了時に『SensorManager.exe』と同一のディレクトリに以下のファイルが作成されます。

- SensorManager.ini　（構成設定）

アプリケーション起動時・終了時に上記のファイルが既に存在する場合、
ファイルは作成されません。

起動時のウィンドウの各ボタンについて説明します。

①データ収集開始・収集停止ボタン
②設定参照ボタン
③状態確認ボタン
④無線設定ボタン
⑤パラメータファイル保存先フォルダの指定
⑥結果格納先フォルダの指定
⑦自働データ収集 ON・OFF

①データ収集開始・収集停止ボタン

『5.2.設定確認』にて行った設定を元にデータ収集を開始、または停止します。

データ収集を開始すると一定間隔で電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）にデータ要求を行い、電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）から受け取ったデータを CSV ファイル形式で保存します。

CSV ファイルは『⑥結果格納先フォルダの指定』で指定されたフォルダに保存されます。

※ 本ボタンを用いてデータ収集を行う場合は事前に電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）の設定を行う必要が有ります。『5.2.設定確認』を参照し電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）の設定を行ってください。

②設定参照ボタン

設定参照ボタンをクリックすると設定確認ウィンドウが表示されます。

設定参照ウィンドウについては『5.2.設定確認』にて説明します。

③状態確認ボタン

状態確認ボタンをクリックすると状態確認ウィンドウが表示されます。

状態確認ウィンドウについては『5.3.状態確認』にて説明します。

④無線設定ボタン

電力測定ユニット(PM-400-LAN-2)を対象に電力データ収集を行う場合、本ボタンは使用しません。

⑤パラメータファイル保存先フォルダの指定

パラメータファイルの保存先を指定します。

保存先を指定しなかった場合、デフォルト設定として SensorManager.exe と同一ディレクトリ内に作成された Param フォルダの中に作成・保存されます。

⑥結果格納先フォルダの指定

収集データの保存先を指定します。

保存先を指定しなかった場合、デフォルト設定として SensorManager.exe と同一ディレクトリ内に作成された Data フォルダの中に作成・保存されます。

⑦自働データ収集 ON・OFF

本アプリケーション起動時に『①データ収集開始・収集停止ボタン』のどちらが有効になっているかを指定します。

自働データ収集が ON（本項目がチェックされている）の場合、アプリケーション起動と同時にデータ収集を開始します。

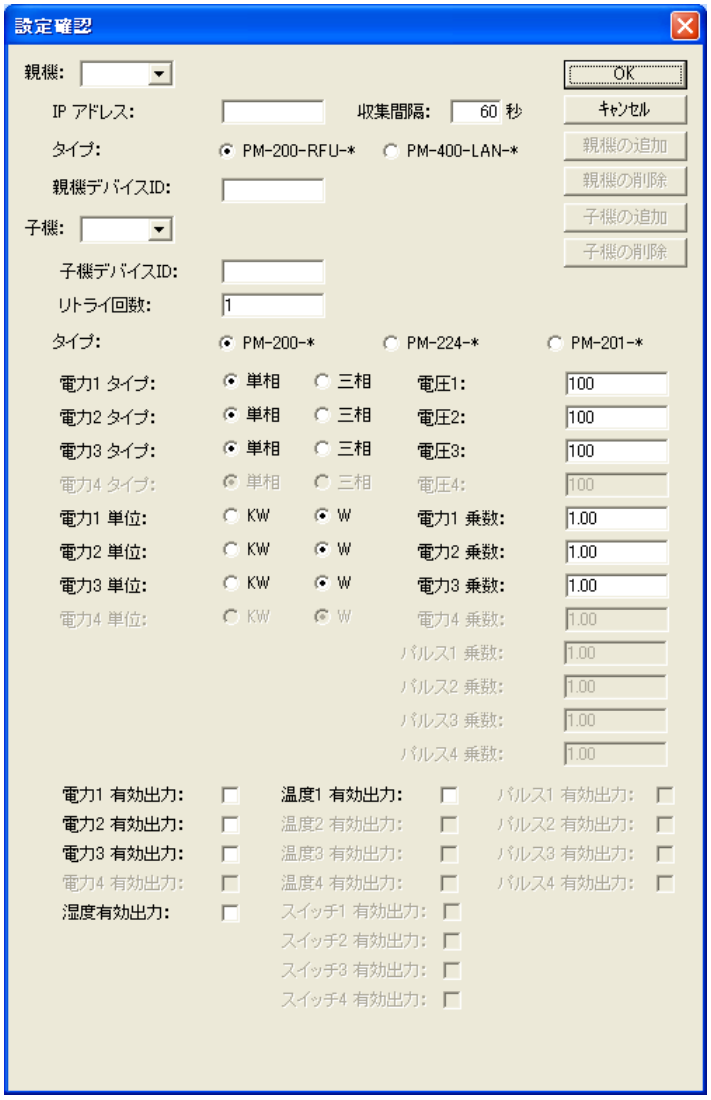
自働データ収集が OFF（本項目がチェックされていない）の場合、アプリケーション起動後『①データ収集開始・収集停止ボタン』でデータ収集を開始しない限り、データ収集を行いません。

本項目は最後にアプリケーションを終了した際の設定を保持します。

また、本アプリケーションの初回起動時は自働データ収集が ON に設定されています。

5.2. 設定確認

本アプリケーション起動後、設定参照ボタンをクリックすると次のようなウィンドウが表示されます。



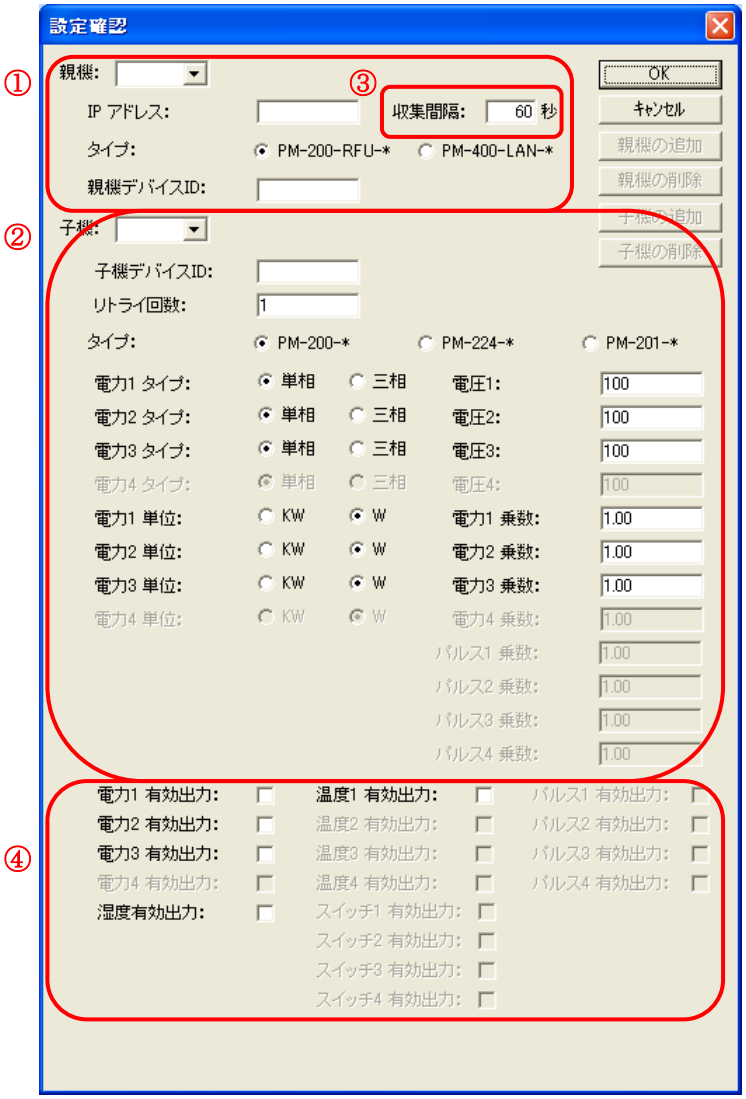
ここでは主に、

・電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）の設定

・作成する CSV ファイルの設定

などを行います。

設定確認ウィンドウの各項目について説明します。



①電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）の通信設定

②電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）の設定

③収集間隔

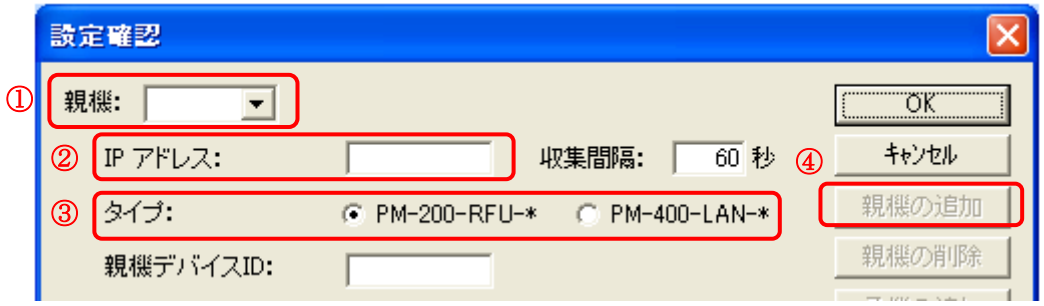
④CSV ファイル出力設定

①電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）の通信設定

本項目では電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）の通信設定を行います。

本アプリケーションでは 20 台まで電力測定ユニット(PM-400-LAN-2)を登録することができます。

設定手順は以下のようになります。



～設定手順～

① 電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）のナンバーを登録します。ナンバーは 010～200 まで 10 単位で指定することができます。

② 電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）の IP アドレスを設定します。

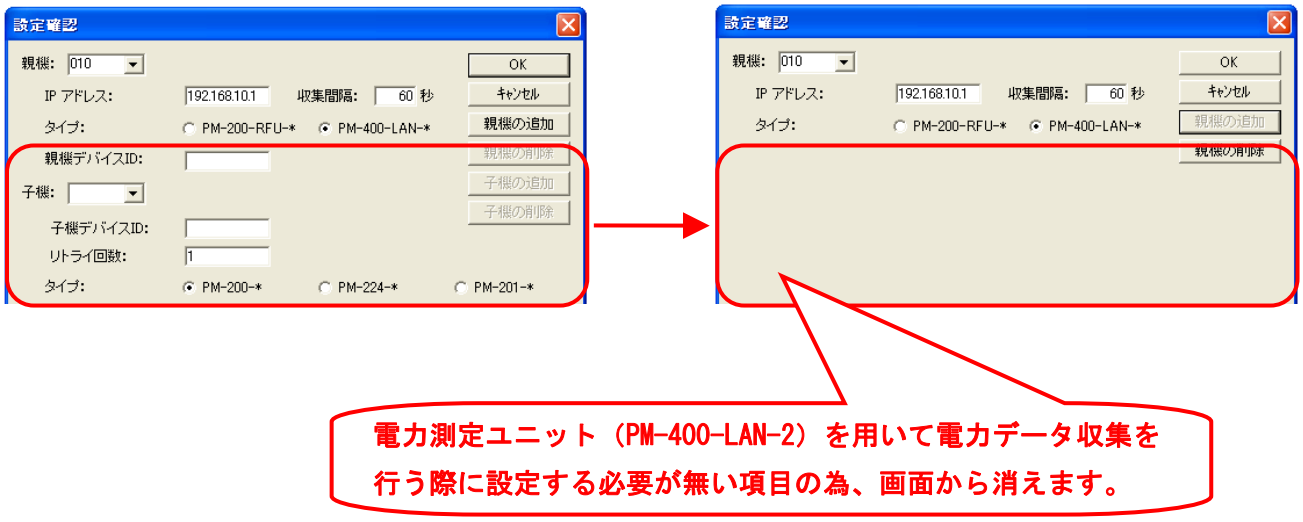
③ 通信対象としてタイプに『PM-400-LAN-＊』を設定します。

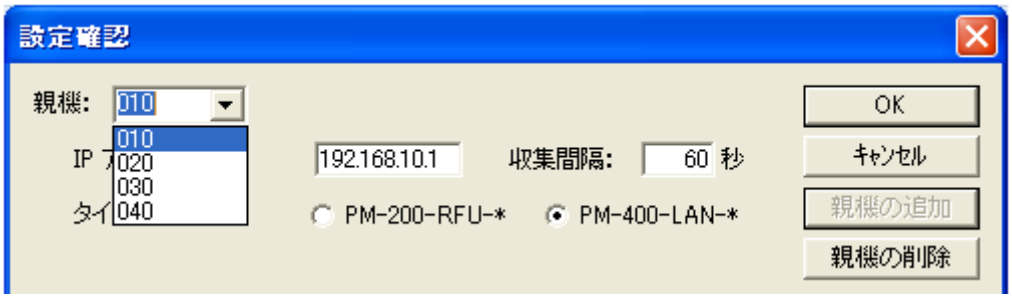
④ 親機の追加をクリックする事で①~③で設定した内容を登録します。

※設定例

全ての項目を入力すると『④親機の追加』ボタンが有効になります。

親機の追加をクリックすると、設定が登録され、電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）を用いた電力データ収集に不要な設定項目が消えます。





複数台の電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）を登録するとプルダウンメニューにて電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）の選択・再設定ができます。

また既に登録されている電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）を選択し『親機の削除』ボタンをクリックする事で登録されている電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）の設定を削除することができます。

②電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）の設定

本項目では『5.2.設定確認　電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）の通信設定』で追加された電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）の設定を行います。

設定手順は以下のようになります。

～設定手順～

①　電力タイプ・電力単位を設定します。

・電力 n タイプ（n＝1~4）

測定対象が、単相か三相かを設定します。

・電力 n 単位（n＝1~4）

収集データの CSV ファイル出力時の単位を［W］または、［kW］のどちらにするかを設定します。

②　CT センサ入力の測定結果に乗ずる係数値を設定します。

・電圧 n（n＝1~4）

子機より得られる電流データに乗ずる電圧の値を設定します。

既定値：100（入力電圧として 100［V］を想定したものです）

・電力 n 乗数（n＝1~4）

『①で設定を行った電力 n タイプ』・『CT の種類』・『測定対象への接続方法』によって変化する乗数を指定します。

本アプリケーションでは、

・電力ｎタイプ：単相

・CT の電流比：2000:1

上記の設定で測定を行う場合を基準（乗数：1.00）に乗数の指定を行います。

また、指定する乗数は小数点 2 桁までとなります。

設定値の算出方法について以下に記します。

◆電力ｎタイプが単相の場合

電力乗数　＝　使用する CT の電流比　÷　2000

例：電流比が 2000:1 の場合

電力乗数　＝　2000　÷　2000　＝　1.00

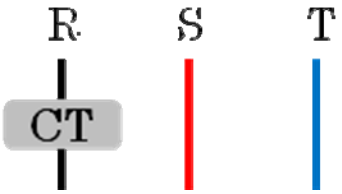
電流比が 3000:1 の場合

電力乗数　＝　3000　÷　2000　＝　1.50

◆電力ｎタイプが三相の場合

測定対象によって電力乗数が変化します。

・平衡三相負荷の電力値を測定する場合



※接続例

電力乗数　＝　使用する CT の電流比　÷　2000

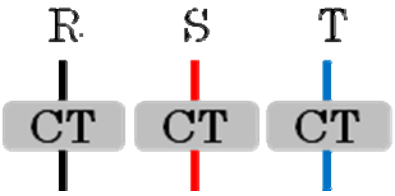
例：電流比が 2000:1 の場合

電力乗数　＝　2000　÷　2000　＝　1.00

電流比が 3000:1 の場合

電力乗数　＝　3000　÷　2000　＝　1.50

・不平衡三相負荷の電力値を測定する場合



※接続例

電力乗数　＝　使用する CT の電流比　÷　2000　÷　3

例：電流比が 2000:1 の場合

電力乗数　＝　2000　÷　2000　÷　3　＝　0.33

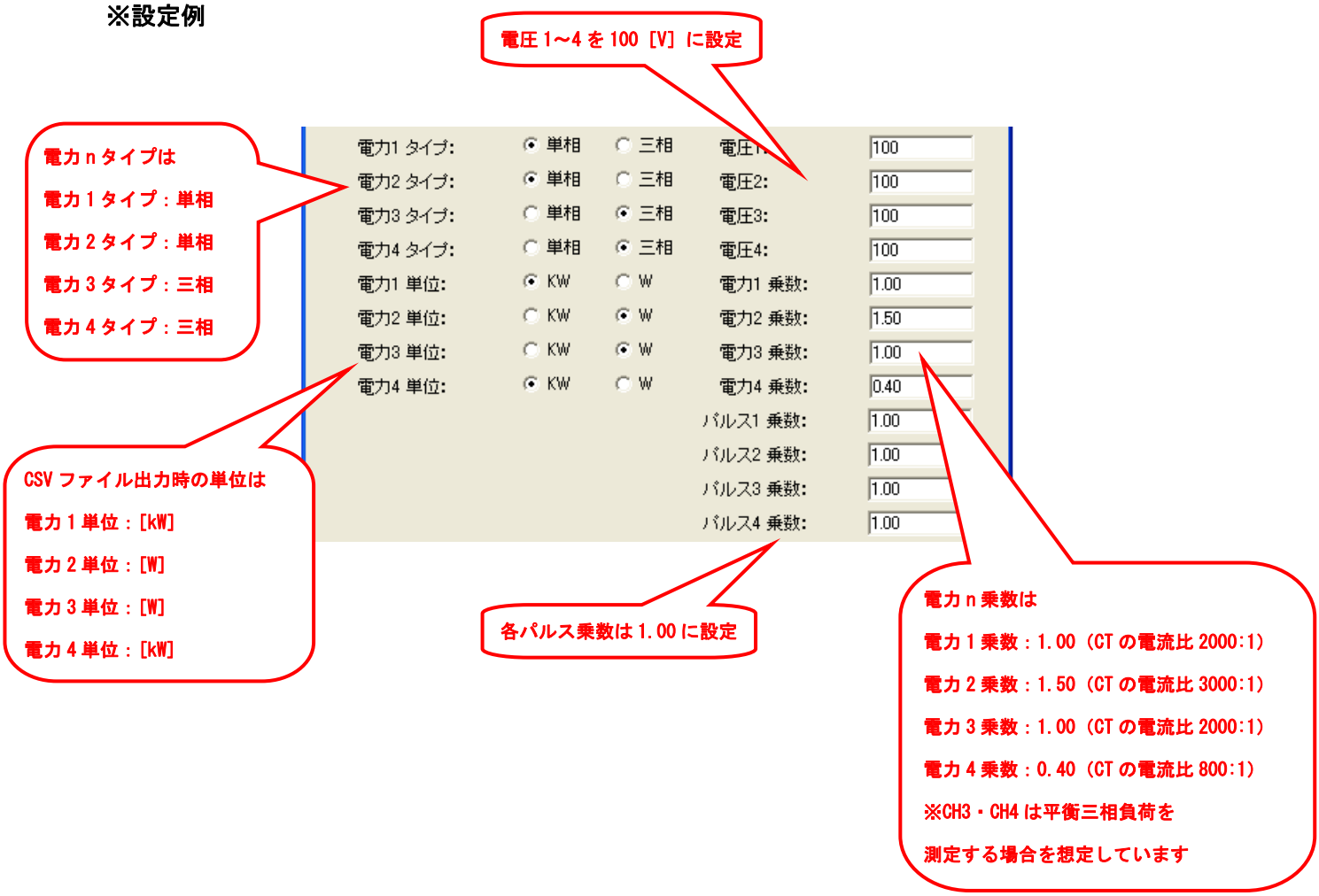
電流比が 3000:1 の場合

電力乗数　＝　3000　÷　2000　÷　3　＝　0.50

・パルス n 乗数（n＝1~4）

パルス出力のカウンタ値に乗ずる値の設定をします。
設定する乗数は接続される機器ごとに異なります。
設定値は接続対象の仕様を確認の上、設定してください。
デフォルト設定値：1.00（カウントしたパルス数がそのまま出力されます）

※設定例

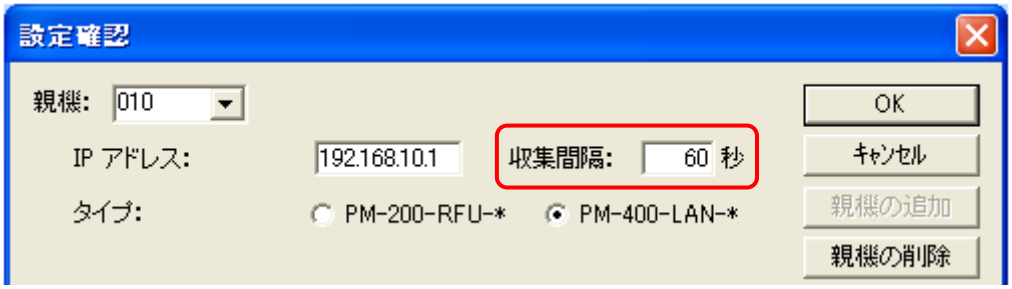

電圧 1～4 を 100［V］に設定
電力ｎタイプは
電力 1 タイプ：単相
電力 2 タイプ：単相
電力 3 タイプ：三相
電力 4 タイプ：三相
電力1 タイプ: 単相 三相
電力2 タイプ: 単相 三相
電力3 タイプ: 単相 三相
電力4 タイプ: 単相 三相
電力1 単位: KW W
電力2 単位: KW W
電力3 単位: KW W
電力4 単位: KW W
電圧1:
電圧2:
電圧3:
電圧4:
100
100
100
100
電力1 乗数:
電力2 乗数:
電力3 乗数:
電力4 乗数:
1.00
1.50
1.00
0.40
パルス1 乗数:
パルス2 乗数:
パルス3 乗数:
パルス4 乗数:
1.00
1.00
1.00
1.00
CSV ファイル出力時の単位は
電力 1 単位：[kW]
電力 2 単位：[W]
電力 3 単位：[W]
電力 4 単位：[kW]
各パルス乗数は 1.00 に設定
電力ｎ乗数は
電力 1 乗数：1.00（CT の電流比 2000:1）
電力 2 乗数：1.50（CT の電流比 3000:1）
電力 3 乗数：1.00（CT の電流比 2000:1）
電力 4 乗数：0.40（CT の電流比 800:1）
※CH3・CH4 は平衡三相負荷を
測定する場合を想定しています

・収集間隔

本項目ではデータ収集を行う間隔を設定します。

設定された収集間隔で親機から子機へデータ要求を送り、データを収集します。

設定は≪秒≫単位で行います。



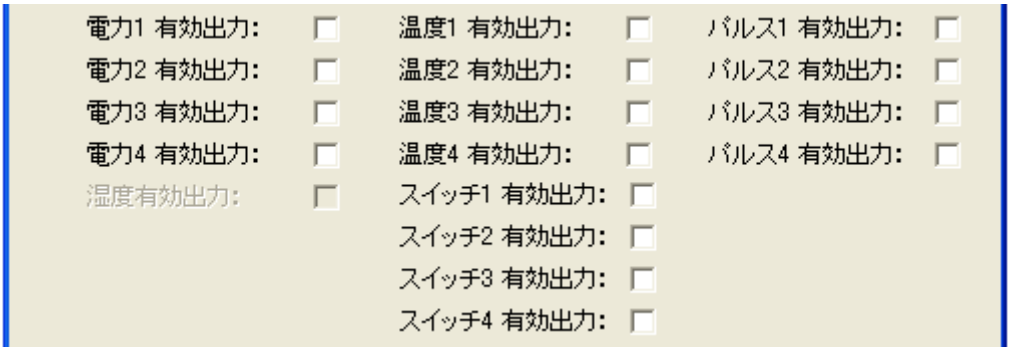
～設定手順～

収集間隔の項目に数値を入力してください。設定範囲は 1~4294967295 までです。

アプリケーション初回起動時はデフォルト値として 60 が設定されています。

・CSV ファイル出力設定

本項目では収集データを CSV ファイルに出力する際の設定を行います。



CSV ファイルに出力したいデータ項目にチェックを入れる事で、指定されたデータが書き込まれた CSV ファイルを出力します。

設定できる項目を以下に記します。

・電力 n 有効出力（n=1~4）

CHn の電力値の出力設定をします。

・温度 n 有効出力（n=1~4）

温度センサによって得られた温度データの出力設定をします。

・パルス n 有効出力（n=1~4）

パルス出力のカウント値の出力設定をします。

・スイッチｎ有効出力（n＝1~4）

デジタル出力の状態の出力設定をします。

出力されるCSVファイルの詳細については『6. CSVファイルについて』を参照してください。

※設定例

5.3. 状態確認

本アプリケーション起動後、状態確認ボタンをクリックすると次のようなウィンドウが表示されます。

ここでは

・測定データの取得

・ホストPC－電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）間の通信状態の確認

などを行います。

設定確認ウィンドウの各項目について説明します。

①ホスト PC－電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）間の通信状態の確認

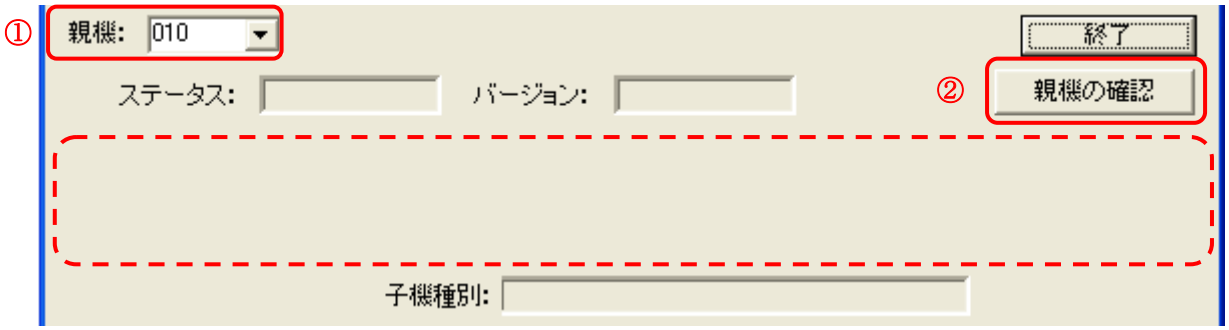
②測定データの取得

③スイッチ ON－OFF 制御

④スイッチ ON 許可制御（未使用）

・ホストPC－電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）間の通信状態の確認

本項目では、ホストPC－電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）間の通信状態を確認します。



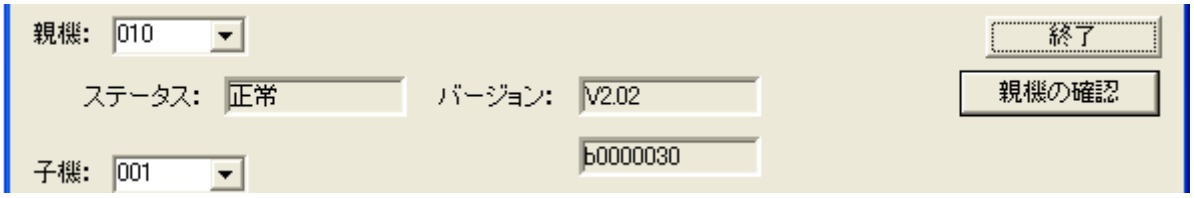
～動作手順～

① 通信状態を確認したい親機のナンバーを選択します。
この時選択できる親機は『5.2.設定確認　親機の設定』で登録された物となります。

② 親機の確認ボタンを押す事で通信状態を確認することができます。

※破線で囲まれた部分は電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）を用いてデータ収集を行う際に必要のない部分の為、親機ナンバー選択時に消えます

※動作例



通信が正常に行われた場合はステータス欄に『正常』と表示され、バージョン情報が表示されます。

バージョン情報は上に電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）のF/Wバージョン、下に無線モジュールのF/Wバージョンが表示されます。

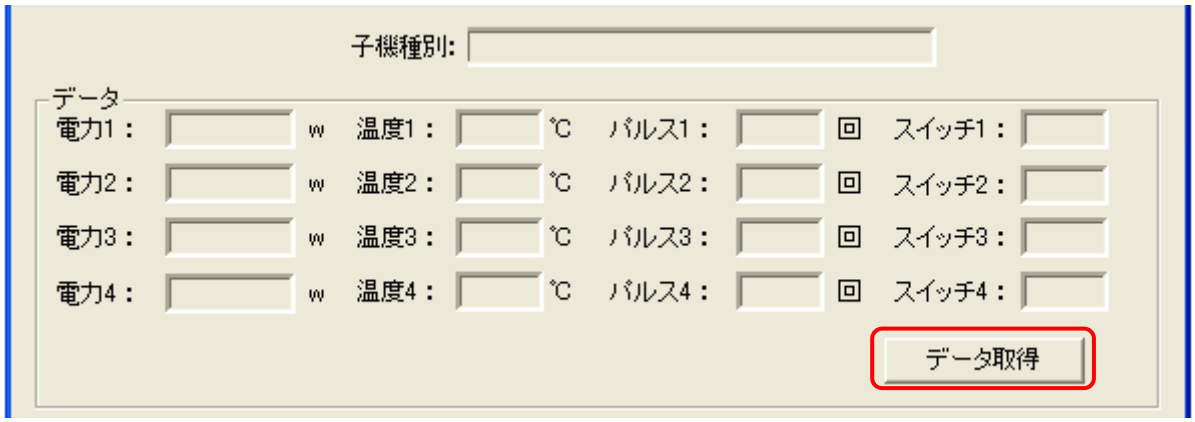
通信に異常が有った場合はステータス欄に『異常』と表示され、バージョン情報には何も表示されません。

・データ取得

電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）に対してデータ取得を行います。

データ取得を行うと子機種別の欄に『PM-400-LAN-＊』と表示されます。

取得したデータは対応する表示欄に表示されます。



～動作手順～

① データ取得ボタンを押す事で電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）が測定したデータを取得することができます。

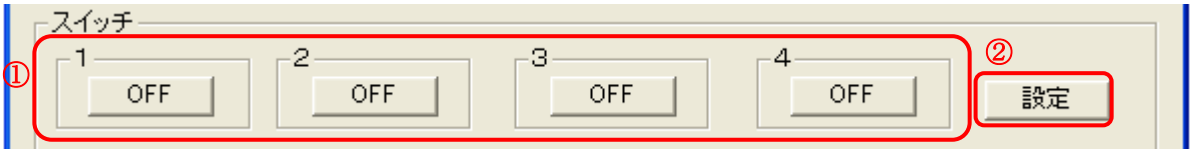
※動作例

データ取得を行うと通信によって取得された以下のデータが表示されます。

・電力 n データ（n＝1~4）
・温度 n データ（n＝1~4）
・パルス n データ（n＝1~4）
・スイッチ n データ（n＝1~4）

・デジタル出力 ON－OFF 制御

電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）のデジタル出力に対して ON－OFF 操作を行う際に使用します



～設定手順～

① 各デジタル出力を ON・OFF のどちらに設定するか選択します。

② 設定ボタンを押す事で①で設定した情報を電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）へ送信します。

ON・OFF 信号の選択を行うボタンはクリックするごとに『OFF』→『ON』→『NONE』→『OFF』・・・の順に変化します。

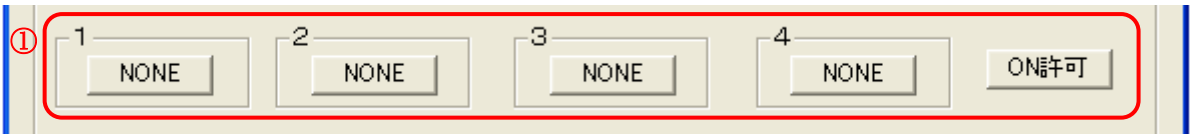
『OFF』信号を送信した場合、電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）のデジタル出力は OFF になります。

『ON』信号を送信した場合、電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）のデジタル出力は ON になります。

『NONE』信号を送信した場合、電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）のデジタル出力は現在の状態を維持します。

・スイッチ ON 許可制御

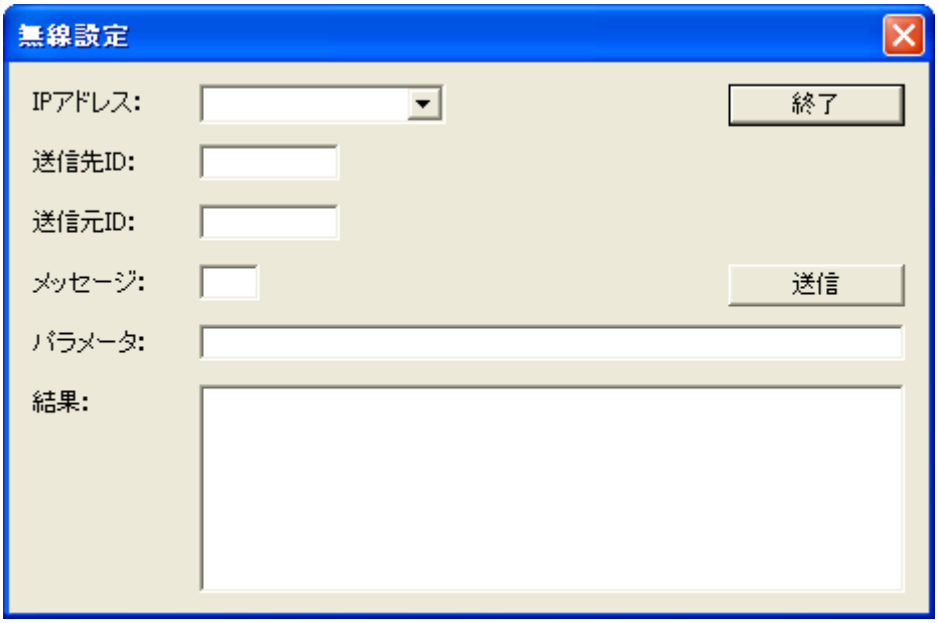
本機能は電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）では使用しません。



① 未使用

5.4. 無線設定

本機能は、電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）では使用しません。



6. CSV ファイルについて

データ収集を行う事によって作成される CSV ファイルの形式について以下に記します。

作成された CSV ファイルは『5.1. アプリケーションの起動　結果格納先フォルダの指定』で指定されたフォルダ内に保存されます。

CSV ファイルのファイル名は次の形式に従って作成されます。

○ XXX_YYYYMMDD_HHMMSS.csv

項目	内容
○	固有名称。出力されるデータごとに異なります。 F:電力、S:温度、P:パルス出力、0:デジタル出力
XXX	親機番号。『5. 設定確認　親機の設定』で登録した番号です 親機 1 番：010～親機 20 番：200
YYYYMMDD	収集日。 YYYY　：年 MM　：月 DD　：日
HHMMSS	収集時刻。 HH　：時間 MM　：分 SS　：秒

作成される CSV ファイルのファイルデータ仕様は次のようになります。

項目	内容
文字コード	Shift JIS
改行コード	CR + LF
文字種別	半角のみ

作成できる CSV ファイルについて以降にまとめます。

・F：電力値の CSV ファイル

頭文字が F で始まる CSV ファイルには電力値データが保存されています。

ファイル形式は次のようになっています。

[装置 ID], [ステータスコード], [積算電力], [瞬時電力値]

項目	内容	備考
装置 ID	表記：FXXXUxx	XXX：電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）番号。 xx=01~04：チャネル番号
ステータスコード	“0” ：正常 “1” ：異常	Null データの場合、またはタイムアウトでデータを収集できなかった場合、異常と判断されます。
積算電力	整数部：7 桁	桁数が満たない場合はそのまま。“0”埋めはされません。
	小数部：2 桁	桁数が満たない場合“0”埋めします。
瞬時電力値	整数部：7 桁	桁数が満たない場合はそのまま。“0”埋めはされません。
	小数部：2 桁	桁数が満たない場合“0”埋めします。

積算電力は収集値が無い場合、0 が入力されます。

電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）と通信を行った場合、子機から受け取るデータは電流値の為、『5.2.設定確認』で設定された電圧値を乗ずる事で電力値としています。

～CSV ファイル作成例～

ファイル名：F010_20120102_030405.csv

電力測定ユニット 010 番から 2012 年 01 月 02 日 03 時 04 分 05 秒に受信した電力データ

CSV ファイルデータ：

F001U01,0, 0.12, 3.45
F001U02,0, 0.12, 3.45
F001U03,0, 0.12, 3.45
F001U04,0, 0.12, 3.45

装置 ID：電力測定ユニット 001 番のチャネル 01
ステータスコード：正常
積算電力：0.12 [w/h]
瞬時電力：3.45[w]

・S：温度の CSV ファイル

頭文字が S で始まる CSV ファイルには温度データが保存されています。

ファイル形式は次のようになっています。

[装置 ID], [ステータスコード], [O], [温度]

項目	内容	備考
装置 ID	表記：SXXXUxx	XXX：電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）番号。 xx=n：サーミスタ温度（n=01~04）
ステータスコード	“0” ：正常 “1” ：異常	Null データの場合、またはタイムアウトでデータを収集できなかった場合、異常と判断されます。
O	未使用	
温度	整数部：3 桁	桁数が満たない場合はそのまま。“0”埋めはされません。
	小数部：2 桁	桁数が満たない場合“0”埋めします。

～CSV ファイル作成例～

ファイル名：S010_20120102_030405.csv

電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）010 番から 2012 年 01 月 02 日 03 時 04 分 05 秒に受信した温度データ

CSV ファイルデータ：

S001U01,0,0,23.45

S001U02,0,0,12.34

S001U03,0,0,23.45

S001U04,0,0,12.34

装置 ID：電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）001 番の温度

ステータスコード：正常

未使用：0

温度：23.45［℃］

・P：パルス出力の CSV ファイル

頭文字が P で始まる CSV ファイルにはパルス出力データが保存されています。

ファイル形式は次のようになっています。

[装置 ID], [ステータスコード], [C], [⊿]

項目	内容	備考
装置 ID	表記：PXXXUxx	XXX：電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）番号。 xx=01~04
ステータスコード	“0”：正常 “1”：異常	Null データの場合、またはタイムアウトでデータを収集できなかった場合、異常と判断されます。
C	総カウンタ値	パルスカウンタの総数。
⊿	カウンタの変化値	前回取得時から今回取得時までのカウンタの差。

～CSV ファイル作成例～

ファイル名：P010_20120102_030405.csv

電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）010 番から 2012 年 01 月 02 日 03 時 04 分 05 秒に受信したパルス出力データ

CSV ファイルデータ：

P001U01,0,10,2

P002U01,0,15,5

P003U01,0,5,1

P004U01,0,10,5

装置 ID：電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）001 番のチャネル 01 のパルス出力

ステータスコード：正常

総カウンタ値：10

カウンタ変化値：2

・0：OUTPUT の CSV ファイル

頭文字が 0 で始まる CSV ファイルにはデジタル出力データが保存されています。

ファイル形式は次のようになっています。

[装置 ID], [ステータスコード], [0], [OUTPUT 状態]

項目	内容	備考
装置 ID	表記：0XXXUxx	XXX：電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）番号。 xx=01~04
ステータスコード	“0” ：正常 “1” ：異常	Null データの場合、またはタイムアウトでデータを収集できなかった場合、異常と判断されます。
0	未使用	
OUTPUT 状態	“0” ：OFF “1” ：ON	デジタル出力の ON／OFF 状態。

～CSV ファイル作成例～

ファイル名：0010_20120102_030405.csv

電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）010 番から 2012 年 01 月 02 日 03 時 04 分 05 秒に受信した OUTPUT データ

CSV ファイルデータ：

0001U01,0,0,1

0001U02,0,0,0

0001U03,0,0,0

0001U04,0,0,1

装置 ID：電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）001 番のチャネル 01 の温度

ステータスコード：正常

0：未使用

OUTPUT 状態：ON 状態

7. パラメータファイルについて

電力測定ユニット（PM-400-LAN-2）に対するアクセスを行う為の設定が保存されているパラメータファイルの形式について以下に記します。

作成されたパラメータファイルは『5.1. アプリケーションの起動　パラメータファイル保存先フォルダの指定』で指定されたフォルダ内に保存されます。

パラメータファイルのファイル名は次の形式に従って作成されます。

PXXX.csv

項目	内容
P	固有名称。出力されるデータごとに異なります。
XXX	親機番号。『5.2.1. 親機の設定』で登録した番号です 親機 1 番：010～親機 20 番：200

作成されるパラメータファイルのファイルデータ仕様は次のようになります。

項目	内容
文字コード	Shift JIS
改行コード	CR + LF
文字種別	半角のみ

パラメータファイルのファイル形式は以下のようになります。

1 行目）

[IP アドレス], [親機デバイス ID]

項目	内容	備考
IP アドレス	親機の IP アドレス	
親機デバイス ID	無線モジュールの ID	

2 行目）

[子機タイプ], [子機番号], [子機デバイス ID], [リトライ回数],

[電力 1 タイプ], [電力 2 タイプ], [電力 3 タイプ], [電力 4 タイプ],

[電圧 1], [電圧 2], [電圧 3], [電圧 4],

[電力 1 単位], [電力 2 単位], [電力 3 単位], [電力 4 単位],

[電力 1 乗数], [電力 2 乗数], [電力 3 乗数], [電力 4 乗数],

[0], [0], [0], [0],

[パルス 1 乗数], [パルス 2 乗数], [パルス 3 乗数], [パルス 4 乗数],

[電力 1 有効出力], [電力 2 有効出力], [電力 3 有効出力], [電力 4 有効出力],

[温度 1 有効出力], [温度 2 有効出力], [温度 3 有効出力], [温度 4 有効出力],

[パルス 1 有効出力], [パルス 2 有効出力], [パルス 3 有効出力], [パルス 4 有効出力],

[スイッチ 1 有効出力], [スイッチ 2 有効出力], [スイッチ 3 有効出力], [スイッチ 4 有効出力],

[湿度有効出力], [1]　　（複数行指定可能）

項目	内容	備考
子機タイプ	測定を行う装置のタイプを表記	TYPE_LAN_FULL :電力測定ユニット(PM-400-LAN-2)
子機番号	未使用	固定値：1
子機デバイス ID	未使用	固定値：12345678
リトライ回数	未使用	固定値：1
電力 1 タイプ	単相か 3 相	単相：1　　3 相：3
電力 2 タイプ	単相か 3 相	単相：1　　3 相：3
電力 3 タイプ	単相か 3 相	単相：1　　3 相：3
電力 4 タイプ	単相か 3 相	単相：1　　3 相：3
電圧 1	電圧値	100V：100　　200V：200
電圧 2	電圧値	100V：100　　200V：200
電圧 3	電圧値	100V：100　　200V：200
電圧 4	電圧値	100V：100　　200V：200

項目	内容	備考
電力 1 単位	電力単位	kW：1　　W：0
電力 2 単位	電力単位	kW：1　　W：0
電力 3 単位	電力単位	kW：1　　W：0
電力 4 単位	電力単位	kW：1　　W：0
電力 1 乗数	使用する CT の乗数	小数点　2 桁まで有効
電力 2 乗数	使用する CT の乗数	小数点　2 桁まで有効
電力 3 乗数	使用する CT の乗数	小数点　2 桁まで有効
電力 4 乗数	使用する CT の乗数	小数点　2 桁まで有効
予約	未使用	固定値：0
予約	未使用	固定値：0
予約	未使用	固定値：0
予約	未使用	固定値：0
パルス 1 乗数	使用するパルスの乗数	小数点　2 桁まで有効
パルス 2 乗数	使用するパルスの乗数	小数点　2 桁まで有効
パルス 3 乗数	使用するパルスの乗数	小数点　2 桁まで有効
パルス 4 乗数	使用するパルスの乗数	小数点　2 桁まで有効
電力 1 有効出力	CSV に出力する／しない	出力する：1　　出力しない：0
電力 2 有効出力	CSV に出力する／しない	出力する：1　　出力しない：0
電力 3 有効出力	CSV に出力する／しない	出力する：1　　出力しない：0
電力 4 有効出力	CSV に出力する／しない	出力する：1　　出力しない：0
温度 1 有効出力	CSV に出力する／しない	出力する：1　　出力しない：0
温度 2 有効出力	CSV に出力する／しない	出力する：1　　出力しない：0
温度 3 有効出力	CSV に出力する／しない	出力する：1　　出力しない：0
温度 4 有効出力	CSV に出力する／しない	出力する：1　　出力しない：0
パルス 1 有効出力	CSV に出力する／しない	出力する：1　　出力しない：0
パルス 2 有効出力	CSV に出力する／しない	出力する：1　　出力しない：0
パルス 3 有効出力	CSV に出力する／しない	出力する：1　　出力しない：0
パルス 4 有効出力	CSV に出力する／しない	出力する：1　　出力しない：0
スイッチ 1 有効出力	CSV に出力する／しない	出力する：1　　出力しない：0
スイッチ 2 有効出力	CSV に出力する／しない	出力する：1　　出力しない：0
スイッチ 3 有効出力	CSV に出力する／しない	出力する：1　　出力しない：0
スイッチ 4 有効出力	CSV に出力する／しない	出力する：1　　出力しない：0
湿度有効出力	未使用	固定値：0
予約	未使用	固定値：1

8.構成設定ファイルについて

本アプリケーション起動後、終了した際に作成される構成設定ファイルの形式について以下に記します。

構成設定ファイル『SensorManager.ini』はアプリケーション終了時に『SensorManager.exe』と同一ディレクトリに作成されます。

SensorManager.ini のファイル形式は以下のようになります。

ファイル形式：

[Server Setting]

Auto Start=0

RequestTime=60

ParameterFolder=C:¥Documents and Settings¥SensorManager¥Param

ResultFolder=C:¥Documents and Settings¥SensorManager¥Data

項目	内容	備考
Auto Start	自動データ収集設定	ON：1　　OFF：0 アプリケーション起動時の 自動データ収集機能の設定
RequestTime	収集間隔設定	データ収集間隔の設定値 アプリケーション起動時に初期値 として設定されています。
ParameterFolder	参照する Param ファイルがある フォルダ	Param ファイルのあるフォルダの アドレスが表示されます。
ResultFolder	CSV ファイルを格納するフォルダ	データを格納するフォルダ

改訂履歴

版 数	日　付	内　容
1 版	2012 年 3 月 26 日	新規作成
2 版	2012 年 6 月 4 日	7. パラメータファイルについてのファイル形式の内容を変更 8. 構成ファイルの設定についての内容を変更